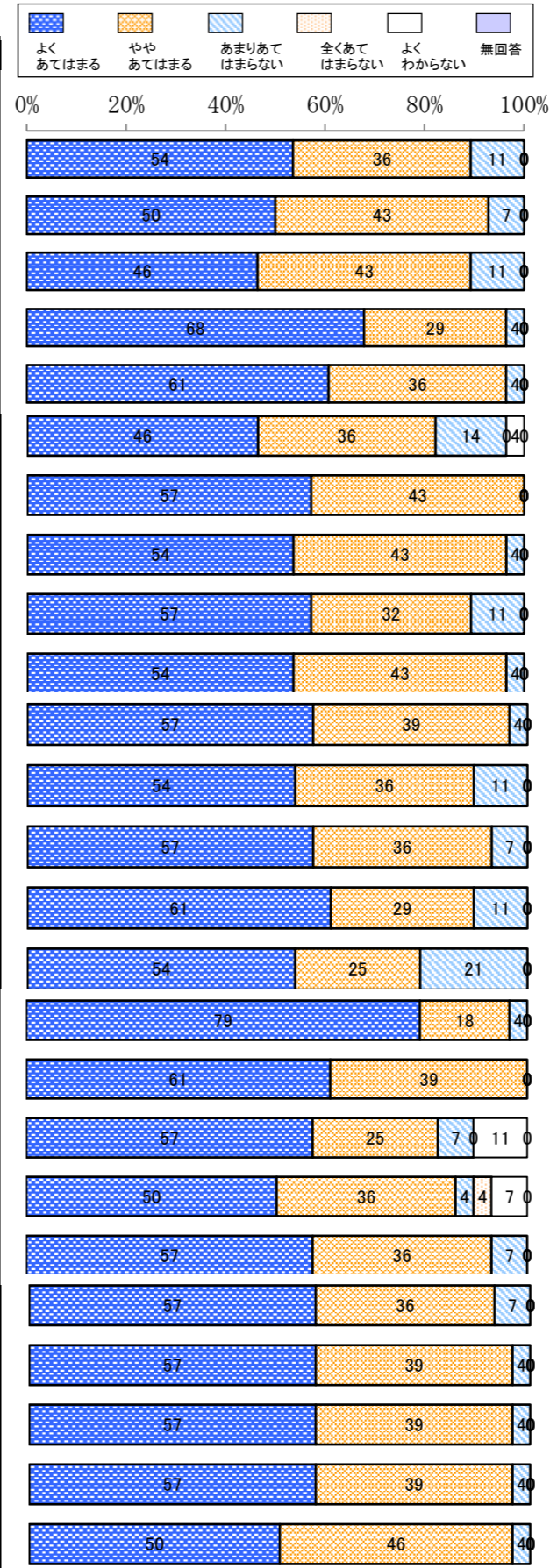


令和4年度 『学校評価アンケートの結果』 と 『自己評価』

荒川区立第九峡田小学校

アンケートの結果			上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員					
			A	B	C	D	よく分らない	無答
学校全体の様子	1	教育目標・方針	39	42	12	2	6	0
	2	児童・生徒の様子	64	24	5	4	1	0
	3	基本的な生活習慣	67	22	6	2	3	0
	4	児童・生徒理解	50	36	9	4	1	0
	5	健康・安全・安心	53	35	9	1	1	0
学力向上の取組	6	分かる授業	38	39	14	3	5	0
	7	個に応じた指導	58	27	9	3	3	0
	8	学習習慣	58	31	5	3	3	0
	9	情報教育	54	30	11	2	3	0
	10	学校図書館の活用	38	43	13	3	3	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	59	29	7	1	3	0
	12	道徳教育	36	40	10	4	10	0
	13	教育相談	60	27	7	3	2	0
	14	人間関係づくり	39	39	10	4	7	0
	15	自治的な活動	52	35	9	2	1	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	32	45	13	3	7	0
	17	相談への対応	51	37	8	2	3	0
	18	学校への参加	38	46	10	2	4	0
	19	地域との連携	68	24	6	1	2	0
	20	意見の反映	39	44	5	2	10	0
各学校の特色ある教育	21	俳句掲示	54	18	13	5	10	0
	22	なかよし班活動	41	35	9	4	12	0
	23	外部講師	68	18	8	2	3	0
	24	プログラミング教育	73	18	4	2	3	0
	25	工夫した教育活動	53	33	11	1	3	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価 (考察)	
1	昨年度と同様に児童、保護者、教職員の肯定的評価が80%を超えた。教育方針は十分に伝わっていると思われる。
2	保護者の肯定的評価が70%から80%に10ポイント上がった。児童が明るく生活できた様子が保護者に伝わった成果と考える。
3	保護者の肯定的評価が昨年の64%から80%と16ポイント上昇した。教職員は肯定的評価が90%近くになった。指導の成果が数値に表れたと考える。
4	昨年度同様に、児童、保護者、教職員の肯定的評価が80%を超えた。一定の評価を得た。児童一人一人のよさを大切にする指導を継続する。
5	児童、保護者、教職員の肯定的評価が約90%を占めた。今後も児童が安心安全な学校生活を送れるように配慮し、高い評価を目指したい。
6	保護者の肯定的評価が81%と、昨年度から21ポイント上昇した。教員の指導に係わる努力が評価されたと考える。
7	肯定的評価が児童88%となったが、保護者76%と、児童と比較すると十分ではない。改善に向けて、より丁寧な「個に応じた指導」を実施する。
8	昨年度と比較し、数値はほぼ同様であった。学習習慣の定着に向けて、寺子屋の活用や家庭学習への呼びかけを実施したい。
9	児童、保護者の数値は昨年度とほぼ同値であった。タブレットPCやICT機器を活用した授業を増やし、情報活用能力を向上させたい。
10	昨年度より肯定的評価が児童、保護者で微増した。今後も学校司書との連携を大切にし、よりよい図書館活用を目指したい。
11	肯定的評価が保護者は85%と昨年度より21ポイント上がり、児童も85%と高い数値となった。今後も人権教育に力をいれ、発信の方法を検討していきたい。
12	児童の肯定的評価は昨年度とほぼ同値だが、保護者は肯定的評価が18ポイント上がった。今後も道徳教育に力を入れ、肯定的評価の数値の向上を目指したい。
13	昨年度と比較し、児童、保護者の否定的評価・不明は減少した。SC情報発信、相談の活用を継続し、肯定的評価の回答を増やしたい。
14	校外の学校行事や体験学習が実施できるようになってきた。保護者のA評価が昨年度45%から73%に28ポイント上昇した。段階的な実施を評価していただいた成果と考える。
15	児童、保護者の肯定的評価は微増だが、教職員の否定的評価が11ポイント増えた。教職員間でよりよい指導方法を模索していきたい。
16	保護者、教職員は概ね高評価だが、児童の「分からない」が9ポイント増加した。児童も分かる情報を意識し、興味を持てるような情報発信を心掛けたい。
17	保護者の肯定的評価が20ポイント上がった。児童の相談に迅速に対応し、保護者へ逐次状況を説明することを今後も実施する。
18	昨年度より肯定的評価が児童14ポイント、保護者16ポイント上がった。感染症対策を工夫し、授業公開や学校行事を実施できたことが数値に表れたと思われる。
19	保護者の「分からない」の回答が昨年度の27%から21%と6ポイント減った。コロナの感染状況を踏まえつつ、地域との連携を深めていきたい。
20	児童、保護者の肯定的評価は70%を超えたが、否定評価や不明の回答も25%を占める。意見の反映を学校で情報共有し、対応できるように努めたい。
21	児童は70%、保護者は88%が肯定的評価であった。地域から本取組への賞賛や励ましの声を多数いただいております。今後も外柵への俳句掲示を継続する。
22	児童、教職員の肯定的評価は昨年度とほぼ同値であった。保護者は13ポイント上がった。児童の肯定的な感想が家庭でも共有された結果と思われる。
23	保護者の肯定的評価が昨年度比で13ポイント上がった。今後も外部講師に協力していただき、児童の興味や関心を高めながら児童の学びを深める。
24	児童、教職員は概ね肯定的評価だが、保護者の「分からない」の回答が17%と多い。保護者に伝わるような情報発信に努めたい。
25	児童、保護者、教員の肯定的評価が80%を超えた。今後も感染症対策を図りながら教育活動の工夫を実施する。